

◆ソニー/ソニーマーケティング：有機ガラス管からクリアな音が広がるグラスサウンドスピーカー『LSPX-S3』発売

豊かな中低音域とキャンドルライトモードが進化



グラスサウンドスピーカー『LSPX-S3』



LED点灯時の使用イメージ

ソニーは、有機ガラス管を震わせて音を出し、リアルでクリアな音色と、イルミネーションLEDの柔らかな光で空間を満たすBluetooth®対応のグラスサウンドスピーカー『LSPX-S3』を発売する。

グラスサウンドスピーカーは、本体の有機ガラス管から水平方向に音が広がります。離れた距離で聞いても音の減衰が少なく、目の前で生演奏を聴いているかのような空間を創出。

『LSPX-S3』は、ウーファーユニットの口径の大型化（約46mm）^{※1}により豊かな中低音を実現している。また、ガラス管内部にあるイルミネーションLEDの明かりがキャンドルのように揺らぐ「キャンドルライトモード」は、音楽との連動や3段階の強弱設定が可能。新搭載のタッチセンサーにより明かりのオン・オフや明るさの調節ができる。部屋のインテリアとしてのスタイリッシュなデザイン性と機能性、そしてバッテリー駆動で室内の好きな場所に持ち運んで使える機動性が、豊かな時間と空間を提供する。

※1：前機種（LSPX-S2）のウーファー口径＝約35mm。

商品名：グラスサウンドスピーカー 型名：『LSPX-S3』

発売日：8月6日 価格：オープン価格

主な特長

1. 有機ガラス管によるクリアな高域とウーファーによる豊かな中低音の実現

有機ガラス管は高域を再生するトゥイーターになっている。中央に配置されているウーファーからは中低音を再生し、スピーカー下部のパスシブライエーターが低音を増強することで、奥行きのある音響を実現する。ウーファーユニットの口径の大型化（約46mm）^{※1}により中低音の音質が豊かになり、クラシックやジャズはもちろん、幅広いジャンルの音楽や、ボーカルの入った曲などもスピーカー全体から広がる高音質で楽しめる。

2. 部屋を豊かに演出するイルミネーションLEDとデザイン性の追求

32段階の明るさ調節ができるガラス管のイルミネーションLEDは、光がキャンドルのように揺らぐ「キャンドルライトモード」を搭載しています。バリエーションが前機種（LSPX-S2）より増え、音楽に連動するモードや強弱などを設定できます。また、明かりのオン・オフ、明るさの調節、キャンドルライトモードの設定は本体に新搭載のタッチセンサーで行える。

よく使用するボタンは本体側面に、それ以外は底面に配置するなど、デザイン性と使い勝手の両立に細部までこだわり、ボディ表面のミネラルシルバーは、金属感と鉱物のような柔らかな輝きを持つ粒子を組み合わせた滑らかな触感で、質感や持った時の肌触りまで追求している。



タッチセンサーによる簡単操作

3. ハンズフリー通話機能など進化した使い勝手

Bluetooth 接続によるハンズフリー通話が可能で、テレワーク時の会議や友人との通話にも使えます。充電は汎用性の高いUSB Type-C®対応です。その他、幅広いBluetoothコーデックへの対応やスマートフォンからの本体操作、2台連携することでステレオ再生が楽しめる機能など、優れた使い勝手と利便性を備えています。

<先行展示のお知らせ>

今回の新商品を、ソニーショールーム/ソニーストア 銀座、ソニーストア 札幌、ソニーストア 大阪、ソニーストア 名古屋、ソニーストア 福岡天神にて、7月14日（水）より展示。

ソニーショールーム発売前先行展示情報

<主な仕様や詳細に関しては、下記の商品サイトからご確認ください。>



『LSPX-S3』

※ 記載されている商品名などはソニーおよび各社の登録商標あるいは商標。

市場推定価格（税込）『LSPX-S3』39,000円前後

※「市場推定価格」は、発売前の製品について、市場での販売価格を当社が推定したものです。なお、製品の実際の販売価格は、各販売店により決定されます。

◆朋栄：アークベンチャーズ株式会社と販売協業契約を締結

LED ビジョンディスプレイ、disguise メディアサーバーを用いたバーチャルプロダクションを提供

株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は、アークベンチャーズ株式会社（CEO: 武仲秀晃、本社：東京都江東区）と、販売協業契約を2021年7月1日に締結したことを発表した。

アークベンチャーズは、大型LEDビジョンディスプレイ、disguise製メディアサーバーなどの最先端の映像機器を販売するほか、システム設計・施工、コンテンツ制作、機器の修理・メンテナンスまで、クライアントのニーズに合わせたソリューションを提案している。アークベンチャーズが日本販売代理店を務めるdisguise（本社：英国ロンドン）は、ロンドン、ニューヨーク、ロサンゼルス、香港、上海にオフィスを持ち、50カ国以上にメディアサーバーを販売。そのメディアサーバーシリーズは、3Dシミュレーション機能を搭載したレンダリングエンジンとして、ライブイベント、コンサート、放送、映像制作など多分野で活用されている。

アークベンチャーズは、放送市場、各メディア市場において、LEDビジョンディスプレイにdisguise製メディアサーバーを組み合わせたしながら、バーチャルとリアルを融合したハイクオリティな映像を制作。ライブイベント、コンサート、劇場、放送などで、各種映像システム、クロマキーとCGによるリアルタイム合成技術を組み合わせたバーチャルプロダクションの制作も行っている。

今回のアークベンチャーズとの販売協業契約により、朋栄が日本国内総代理店として取り扱っているMo-Sys Engineering社（本社：英国ロンドン）のリアルタイムカメラトラッキングシステムStarTrackerと連携したバーチャルプロダクションが実現可能となる。朋栄は、大型LEDビジョンディスプレイに描画するCG映像と実写映像を融合させた「XR（Extended Reality）」「バーチャルプロダクション」「インカメラVFX」等の分野においても、アークベンチャーズが培ってきた各種映像システム構築、リアルタイム合成技術とレンダリングエンジンを活用しながら、最先端の映像制作ソリューションを提供していく。

今回の協業について、両社のコメントは以下の通り。

アークベンチャーズ株式会社 CEO 武仲秀晃

アークベンチャーズは、LEDディスプレイおよびMedia Serverなどトップブランド製品群を、海外から輸入販売しております。日本のマーケットで求められる仕様への適合および海外を含む我々の業界での最先端の技術をいち早く受容し、日本のマーケットへの創造的貢献を肝とし、これまで活動してまいりました。

このたび、放送・映像制作の現場で、豊富な経験実績を持つ朋栄とパートナーシップを組むことで、XR・バーチャル制作を主とする次世代映像制作環境の提供をさらに強力に推し進めていけると、確信しております。世界における日本の映像業界の競争力、またモノを作る力の強化に、貢献してまいります。

株式会社朋栄 代表取締役社長 清原克明

朋栄は、システムインテグレーターとして、25年以上にわたり放送局様や映像制作分野の皆様にはバーチャルスタジオシステムやリアルタイムCGシステムなど各種システムを提案し、納入してまいりました。近年では、放送局のスタジオサブや回線設備など中核システムにも携わり、大きな責任を感じるとともに、さらに良いご提案をしていく必要性を感じています。

アークベンチャーズは、大型LEDビジョンディスプレイ、disguiseメディアサーバーを組み合わせた数々のバーチャルプロダクションの制作実績を持つ素晴らしい企業であり、これまで朋栄だけでは実現できなかったバーチャルプロダクション案件においてもご提案が可能になると考えています。これからも時代の変化をしっかりと捉え、お客

様と朋に栄える企業として、皆様にご満足いただける製品、ソリューションをご提供してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社朋栄 マーケティング本部広報部 TEL:03-3446-3528

FAX:03-3446-5116 e-mail:ad@for-a.co.jp

◆朋栄：5G 利用拡大に向け京セラ製 5G 対応デバイスの取り扱いを開始

デュアルSIMを搭載可能で、4K 動画エンコード/デコード機能を利用可能



株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は2021年7月9日、各種映像や大容量データの転送ソリューションを求める市場に向け、京セラ株式会社製5G対応デバイスK5G-C-100Aの販売代理店契約を締結し、販売を開始した。

2021年5月に京セラが発売した5G対応デバイスK5G-C-100Aは、第5世代移動通信システム（5G）を活用した法人向けIoT通信デバイスである。公衆網/ローカル網の双方で利用できるデュアルSIMに対応しており、通信方式は5G NR（Sub6/mmW）、Local5G（Sub6/mmW）、4G LTE（マルチバンド）に対応している。各種機器は、USB Type-C、Wi-Fi、Bluetoothによる接続が可能で、変換アダプタの利用によりHDMI入出力やRS232C接続、有線LAN接続も可能となる。

K5G-C-100Aは、交換可能なバッテリー運用も可能で、GPS、GLONASS、みちびきなど5つの位置測位システムとA-GPSに対応する位置測定機能を搭載している。また、映像関連の機能として、4K動画のエンコード/デコード機能を利用することも可能としている。

国内営業本部 本部長を務める堀之丸乃弘（ほりのまる のりひろ）氏は、5G対応デバイスK5G-C-100Aの取り扱い開始について、次のように話す。

「放送・メディア市場では昨今の時世の影響により、限られた人数での現場取材やライブ中継が行われるようになってきました。また、働き方改革の一環で在宅や遠隔での業務を行うケースも増えています。しかし、リモートプロダクションを円滑に行うためには、安定した広帯域の高速ネットワーク接続が必要不可欠で、より安価で小型の高速モバイル通信デバイスが求められていました。このたびの協業により、京セラ製5G対応デバイスK5G-C-100Aの取り扱いを開始することで、高精細・高品質な映像伝送や大容量データの高速転送が必要な分野に向け、より手軽に5G通信によるネットワーク接続が行えるようになり取り組んでまいります。」

同社は今後、高品質な映像伝送や取材時の機動力が必要となる放送局や制作会社をはじめ、インターネットコンテンツ配信事業者、防災や監視などで各種映像やセンサーデータの転送が必要なセキュリティ分野、地域医療などの各種データを扱うメディカル分野、リモート授業などを行う教育分野に向け、K5G-C-100Aによる5G/Local5G/4G LTEネットワーク接続の活用を提案する。また、同社のコア技術である各種ファイルベース製品、グラフィックス製品、各種映像制作製品/ソリューションを組み合わせたシステムの提案を行っていく。

【製品に関するお問い合わせ】

株式会社朋栄 国内営業本部 TEL：03-3446-3121

FAX：03-3446-4451 e-mail：ad@for-a.co.jp

◆ ITG マーケティング: Samsung PCIe® Gen 3.0 x4 M.2 SSD「980」1TBモデルとUSB 3.1 Gen 2 接続 NVMe™ 外付けケースのバンドルモデルを発売

ITG マーケティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：左京恒夫）は、PCIe Gen 3.0x4 インターフェースに対応した M.2 フォームファクタ Samsung SSD「980」の 1TB に「AOTECH 製 USB 3.1Gen2 接続 NVMe M.2 SSD 外付けケース」（以下、「NVMe 外付けケース」）をバンドルしたモデルを 2021 年 7 月中旬より発売した。



■ AOTECH 製 NVMe 外付けケースについて

本モデルにバンドルする AOTECH 製 NVMe 外付けケース「AOK-M2NVME-U31G2」は、JMicron 製チップ「JMS583」を搭載し、USB 3.1Gen2（最大 10Gbps）に対応した、NVMe M.2 SSD を USB に変換できる外付けケース。

アルミ筐体による冷却設計で、ケースの大きさは長さ 105mm × 幅 35mm × 厚さ 11mm、重さは 52g とコンパクトで軽量。バスパワー仕様なので、添付の USB 3.1 Type C to A ケーブルで USB ポートに接続すればそのまま使用できる。プラスドライバーが付属しているため、ケースへの SSD 取り付けや取り外しが簡単に行える。

■ Samsung NVMe M.2 SSD「980」について

「980」は、サムスン製の最新 3 ビット MLC TLC V-NAND とサムスン自社製コントローラを搭載した PCIe Gen 3.0 x4 インターフェース対応の NVMe SSD。



DRAM レス設計によりコスト削減を実現しつつ、HMB Host Memory Buffer) テクノロジーと最新の V-NAND、最適化されたコントローラおよびファームウェアを組み合わせることで、シーケンシャル読み出しおよび書き込み速度は最大 3,500MB/s および 3,000MB/s を実現する。

※パフォーマンスは、SSD のファームウェアバージョン、システムのハードウェア構成や環境設定などによって異なる場合がある。

※本製品は「980 1TB」とのバンドルモデル。

■ M.2 SSD を搭載したパソコンの換装用途に

Samsung SSD に対応したデータ移行ソフトウェア「に対応し

たデータ移行ソフトウェア「Samsung Data Migration 4.0」は、メーカー Web サイトよりサイトより無償でダウンロードでき、OS、ソフトウェア、およびユーザーデータを含むすべてのデータを、既存のストレージデバイスから Samsung SSD に迅速、簡単、かつ安全に移行できるように設計されている。



980 と USB 外付けケースがセットになった本製品と、最新のデータ移行ソフトウェア「Samsung Data Migration 4.0」を組み合わせれば、USB 接続での M.2 SSD のデータ移行が簡単に行える。

Samsung Data Migration ダウンロードサイト

<https://www.samsung.com/semiconductor/minisite/jp/support/tools/>

※お使いのパソコンによっては換装できない場合がございます。事前にパソコンメーカーにご確認ください。

■手元にある M.2 SSD ストレージを外付けドライブに

「980」への換装後、手元に残った SSD など外付けケースに入れて使用することで、USB 3.1 Gen 2 接続の外付けドライブとして使用することができる。

※外付けドライブとして使用する際はフォーマットが必要な場合がございます。大切なデータを消去しないように十分にご注意下さい。

■バンドル製品概要および仕様

Samsung SSD <https://www.itgm.co.jp/product/ssd-980.php>

AOTECH 製 NVMe 外付けケース「AOK-M2NVME-U31G2」

<https://itprotech.jp/aotech/aok-m2nvme-u31g2/>

■製品ラインアップ

製品	容量	型番	価格	想定価格(税込)
SSD 980 USB 3.1 Gen 2 接続 NVMe 外付けケース	1TB	MZ-V8V1T0B/ACA	オープンプライス	19,790 円

■製品購入アンケートキャンペーン

本製品をご購入の上、所定のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、毎月 10 名様に「Samsung microSD EVO Plus 64GB」をプレゼントいたします。※本キャンペーンは予告なく内容変更または終了する場合がございます。予めご了承ください。



■製品 URL (公開情報)

<https://www.itgm.co.jp/product/ssd-980-case.php>

- ・本プレスリリースに掲載されている会社名および製品・サービス名などは、各社の登録商標または商標です。NVM Express の図形標章、NVMe は NVM Express, Inc. の登録商標です。PCI Express、PCIe は、PCI-SIG の商標です。
- ・本プレスリリースに掲載されている内容、サービスならびに製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



◆ NHK 技研：オブジェクトベース音響対応のライブ音声卓を開発

～番組音声をカスタマイズできる次世代音声サービスに向けて～

□ NHK 放送技術研究所（技研）は、次世代の音声サービス技術として、オブジェクトベース音響方式（OBA）の研究を進めています。今回、OBA のライブ制作に対応した音声卓を世界で初めて開発した。

□ OBA では、番組音声を構成する音声素材とメタデータ（ナレーションや音楽などの音声素材の組合せや再生位置、音量などの付属情報）を放送し、受信機で番組音声を再構成（レンダリング）することで、視聴者の好みや視聴環境に合わせて番組音声をカスタマイズできる音声サービスが実現できる。

□ 従来の OBA 制作機器では、メタデータをファイル形式で出力するだけでしたが、今回開発した音声卓では、メタデータ^{*1)}をス

トリーム形式^{*2)}で出力することで、ライブ制作に対応できるようになった。

□ さらに、受信機で再構成される音声をリアルタイムにモニターできるレンダリング機能^{*3)}と、既存のデジタル音声回線でメタデータを伝送できる機能^{*4)}も開発した。これらの機能により、従来の番組制作における品質管理や設備、ワークフローに大きな影響を与えずに、OBA の番組を制作できる。

□ 開発した音声卓に用いたメタデータのストリーム形式や伝送方式は、技研の提案を基に国際標準化された。技研では、OBA を用いた次世代の音声サービスの実現に向けて研究開発を進めていく。

*1) ITU-R 勧告 BS.2076:Audio Definition Model

*2) ITU-R 勧告 BS.2125:A serial representation of the Audio Definition Model

*3) ITU-R 勧告 BS.2127:Audio Definition Model renderer for advanced sound system

*4) SMPTE ST 2116:Format for Non-PCM Audio and Data in AES3 — Carriage of Metadata of Serial ADM (Audio Definition Model)

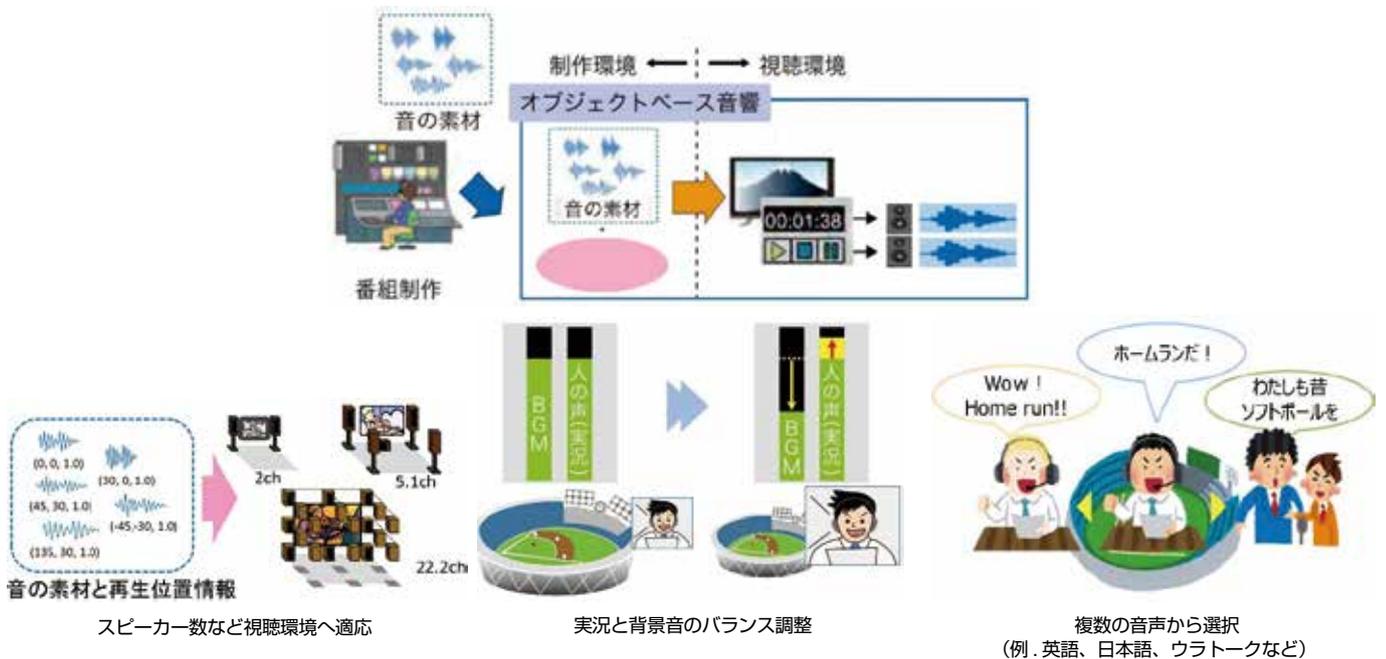


図 1 オブジェクトベース音響と音声サービス例



図 2 音声卓の外観



3 音声卓の構成、信号の流れ

入力音声信号チャンネル数	最大 192 チャンネル
入力音響メタデータ	ADM ^{*1)}
伝送用音声信号出力	最大 64 チャンネル (音響メタデータ込み)
モニター用音声信号出力	最大 24 チャンネル (22.2 マルチチャンネル音響対応)
音響メタデータ信号出力	S-ADM ^{*4)}

表 1 音声卓の主な仕様

◆アストロデザイン：16K4K（8K × 2 面分）の映像処理領域を有するマルチメディアスキャンコンバータ MC 2087 を発売

アストロデザイン株式会社（本社東京都大田区、代表取締役社長：鈴木 茂昭、以下アストロデザイン）は、複数の 8K /4K 信号を 入出力可能な 映像合成分割装置、マルチメディアスキャンコンバータ MC 2087 を発売する。



マルチメディア スキャンコンバータ MC 2087 は、8K × 4K の高解像度サイズの映像をリアルタイムに処理できるマルチビデオプロセッサ マルチウィンドウプロセッサ。拡大縮小器、分割器、多情報一括表示器などシーンに合わせた使い分けが可能。入出力インターフェースボードはスロット式で、最新規格のコネクターに対応することができる。複数素材の同時表示が必要とされる映像システム構築において、基幹となるプロセッサだ。

主な機能

- ・ 入出力 CH はスロットボードの交換により 以下の多様なインターフェースに対応
HD/3G/12G SDI、HDMI2.1/2.0、DisplayPort 1.4*、IP*
- ・ 8K 信号最大入出力 16CH、4K 信号最大入出力 64CH の信号処理が可能
- ・ EOTF/OETF 対応 SDR ⇄ HDR 変換、ITU-R BT.709 ⇄ ITU-R BT.2020 変換に対応
- ・ HDCP2.3 フォーマットに対応
- ・ Web コントローラで出力設定やレイアウト設定等を簡単に登録可能
- ・ 外部制御は LAN/RS-232C/ リモート接点を実装し、多様な制御機器からのコントロールが可能

主な用途

- ・ スタジアムの大型 LED ビジョン
- ・ 商業施設の大型サイネージ
- ・ 官公庁の災害対策室
- ・ 企業の役員会議室
- ・ 監視センター等

製品情報 <https://www.astrodesign.co.jp/product/mc-2087>

型名	発売日	定価
MC-2087 本体	2021 年 9 月	2,750,000 円 (税込)
MC-2087-1S 12G-SDI 対応入力ボード	2021 年 9 月	1,980,000 円 (税込)
MC-2087-1S 12G-SDI 対応出力ボード	2021 年 9 月	1,980,000 円 (税込)
MC-2087-1H HDMI2.1/2.0 対応入力ボード	2022 年 1 月予定	2,420,000 円 (税込)
MC-2087-1H HDMI2.1/2.0 対応出力ボード	2022 年 1 月予定	2,420,000 円 (税込)

*DisplayPort 1.4 対応入出力ボード、IP 対応入出力ボードは第 2 フェーズ (2022 年度予定) の発売を予定

【製品に関する問い合わせ先】

〒145-0066 東京都大田区南雪谷 1-5-2
アストロデザイン株式会社 事業本部 (営業)
TEL:03-5734-6301 FAX:03-5734-6102

◆アストロデザイン：22.2ch Chair Style Speaker TamaToon SA-1852 を発売

2021 年 7 月 13 日～ 8 月 11 日 二子玉川 蔦屋家電にて実機展示

アストロデザイン株式会社（本社東京都大田区、代表取締役社長：鈴木 茂昭、以下アストロデザイン）は、オーディオハート株式会社本社千葉県柏市、代表取締役 相澤 寛、以下オーディオハート製 22.2ch Chair Style Speaker TamaToon SA 1852 を発売する。



オーディオハート社はこれまで 11.2 ch 対応チェアスピーカー VRS-1、VRS-2 を発売し、オーディオ愛好家やホームシアターファンの間で注目を集めてきた。今回新たに発表する SA 1852 は、8K 放送 22.2ch オーディオ対応の 2 人掛けチェアスピーカー。シェルの内側に 24 個の高性能スピーカーを理想的な配置で内蔵し、最新のシアター設備にも匹敵する立体音響を実現する。8K 大画面テレビの目の前に SA 1852 を設置することで、臨場感あふれる音に包まれながら 8K 放送を十分に楽しむことができる。22.2ch オーディオの他、ステレオや Dolby Atmos にも対応している。

本製品は 2021 年 7 月 13 日から 8 月 11 日まで蔦屋家電（東京



22.2ch 音声スピーカー配置図

都世田谷区) にて展示している。

展示概要

日時 2021 年 7 月 13 日 (火) ～ 8 月 11 日 (水) 店舗の営業時間準ずる

場所 蔦屋家電蔦屋家電+

<https://store.tsite.jp/tsutayaelectricsplus-futako/>

東京都世田谷区玉川 1 丁目 14 番 1 号 二子玉川ライズ S.C. テラスマーケット二子玉川 蔦屋家電 1F

製品情報 <https://www.astrodesign.co.jp/product/sa-1852>

型名 発売日 価格

型名	発売日	価格
SAA-1852	2021 年 7 月	オープン価格

製品に関する問い合わせ先】

〒145-0066 東京都大田区南雪谷 1-5-2
アストロデザイン株式会社 事業本部 (営業)
TEL:03-5734-6301 FAX:03-5734-6102